

# 博物館だより

第27号

たいら

## 平の道祖神祭り

あげや

……長野市芋井上ヶ屋平の民俗調査より……



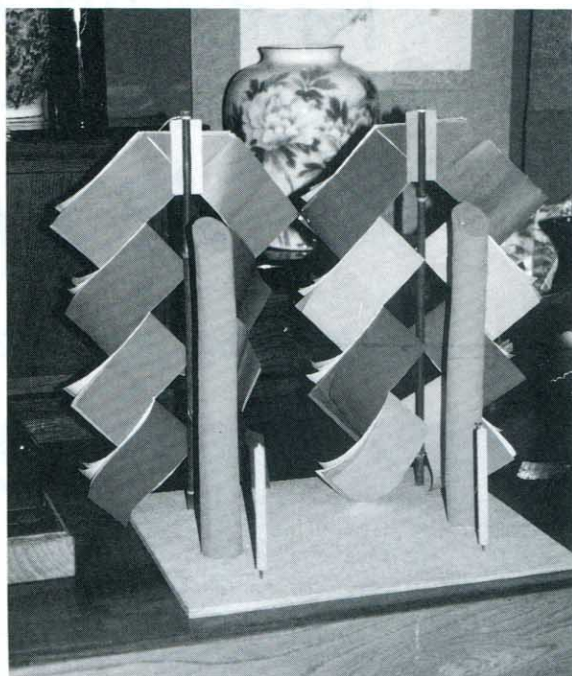
▲ カンジンの様子

長野市芋井上ヶ屋平地区では、現在も夜を徹して道祖神祭りが行なわれています。平は戸数42戸の集落で、平成4年の4月29日には7年に一度の御柱祭りおんばしらも行なわれ、昔ながらの形で民俗行事が継承されている地区です。平では道祖神のことをセイノカミまたはドーソジンと呼んでいて、今年は8人（数え5才から数え15才）の男の子によって行なわれました。その様子を記録すべく、平の道祖神祭りを追いかけてみました。

## ❁道祖神祭りの準備

平では1月7日の朝、子どもたちが各家の神棚にある八帖はちじょうの紙を集めることから準備が始まります。そして夕方から子どもたちは当番の家はちじょうに集まり、集めた八帖の紙を切ってオンベの棒に結びつけ紅を全体につけます。このオンベの棒は長さ2m15cm程で、棒先に「道祖神」と記されている長さ72cm程の笏しやくがくくりつけてあり、また毎年八帖の紙をつけやすいように先端の紙は取らずに残しておきます。

オンベをつくり終わった次の日から、地区にある道祖神碑は持ち運べないため山へ松を採りに行き、男性と女性のシンボルを表したドーソジンしやくはっせんを平地区の大工さんに頼んで作ってもらいます。子どもが多かった頃は、男性のシンボルであるマラも14日までに作りまし



▲親方がカンジンのとき持ち歩くドーソジン



た。これは長さが尺八寸しやくはっせんと決まっており、年長から太い順にマラを持ちました。また紅をそれぞれのマラに塗って真っ赤にし、新聞紙などで包みひもで縛ってカンジンのときに背負いました。そして夜中各家をまわる時に自分の子どもがくると、その家の親は自分の子どもの額にマラの紅を指で付けカゼをひかないようにと願いました。現在では子どもの数が少なくなったためマラは作らなくなりました。

# ❁“セイミノカーミノカーンジ 銭でも金でもカッカッと”



▲ カンジンの歌を練習する

14日の夕方4時30分頃、当番の家に8人の子どもたちが集まりカンジンの歌を練習します。

カンジン（勸進）とは、道祖神祭りのときにその地区で決まったカンジンの歌を歌いご祝儀・米・餅などを求めることです。「セイミノカーミ（歳の神）ノーカーンジ（勸進）銭でも金でもカッカッと オージャレ コジャレ イノイ（戌亥）の隅からワクワク（涌く）と 今年の作は豊年だ」と歌い、最年長の男の子が親方になり小さな子どもたちに指導しますが、この練習は昔とても厳しかったそうです。そして今年の役が発表され、小さな子どもたちは一旦家に帰り、年長の4人は当番の家で夕食を済ませ、遊んだり仮眠をして出発の時間を待ちます。平成6年の役は以下のとおりです。

（敬称略）

道祖神（親方）	高木健一（中学生）	金持	大谷正樹（中学生）	オンベ	高木敏郎（小学生）
<small>こめおう</small>		<small>かねもち</small>			
米王	中沢盛明（小学生）	餅王	伝田晃大（小学生）		
<small>こめすけ</small>		<small>もちおう</small>			
米助	中沢春樹（小学生）	餅助	上村 淳（保育園）	一番貝	古田隆唱（保育園）
<small>こめすけ</small>		<small>もちすけ</small>			
		<small>かねもち</small>			

「道祖神」はドーソジンを持つ役、「金持」はご祝儀のお金を集める役、「オンベ」はオンベを持つ役です。そして、「米王」や「餅王」は米・餅を袋に集め、「米助」や「餅助」は道中重い袋を運びますが、現在では小さい子どもでは無理なため、当番の家で車を用意し集まった米や餅を運びます。「一番貝」はケイ（ほら貝）を吹く役です。子どもが多かったころは五番貝までケイを吹く役があり、また男性のシンボルであるマラを持つ役も多い年では一番マラから二十二番マラまであり

ました。

15日の夜中の1時ころ年長の4人が当番の家を出発します。ケイを吹きながら残りの4人の子どもたちを呼び集め、8人で道祖神碑、本郷神社・神明さん・秋葉さんの順におまいを済ませてから、各家をカンジンしてまわります。まわり順は親方が決め、道中ではケイを吹きながら各家に来た合図をします。家の灯りがつくと子どもたちはケイを吹くのをやめ、ドーソジンの家の中に置いて一列に並びカンジンの歌を3回ほど歌います。その間に家の人たちは用意しておいたご祝儀・米・餅を出しドーソジンにおまいりします。子どもが多かった頃は多くご祝儀をもらいたいために、カンジンの歌を何度も歌い平均30分はねばったそうです。またオンベの紙を各家の庭先に数枚落とし、多く落ちていた家ほど縁起が良いとされています。明け方の4時30分ころ最後に当番の家をまわり、カンジンは終わります。



▲ ケイを吹いて残りの4人の子どもを呼び集める



▲ 最初に道祖神碑におまいりにいく

そして朝8時ころ役員や氏子総代、祭典係の大人たちはマキタテ（ドンド焼き）をつくり始めます。同じころ年長の4人がカンジンで集まった餅を42戸分に分けてワラで縛り、「セイノカミの御供です」といって各家に配ります。また集まった米も地区の人に買ってもらいご祝儀に足します。午後1時ころになると、2人の祭典係の立ち会いのもとに年長の子どもたち4人がご祝儀を計算し、参加した子どもたち8人で均等割りにします。今年は一人当たり1万3千50円のご祝儀を子どもたちはもらいました。年長の4人の子どもたちはケイを吹いて残りの4人の子どもたちを集め、当番の家で親方が一人づつご祝儀を渡し一旦解散します。



▲カンジンで集まった餅を42戸で分けワラで縛る



▲ カンジンで集まった米を地区の人に買ってもらう

# ドンド焼き

夜7時30分ころになると、祭典係が中心となってドンド焼きが行なわれます。ドンド焼きをアキかたの方（今年は歳徳の方角）に倒すと良い一年になるともいわれています。またケイを吹いて子どもたち8人も集まり、親方がカンジンの時一晩中持ち歩いたドーソジンさいとくをドンド焼きに入れて燃やします。その後子どもたちは当番の家に集まり、ハレの食であるトウフ汁を食べながら新年会を行います。そしてコヨリのクジで来年の当番を決め、その家に昭和23年から続く道祖神祭りの記録やオンペなどの道具の引継ぎをして一連の行事は終了します。若い衆（15～35才）があった4～5年前までは、マキタテやドンド焼きは若い衆の仕事で、15才になる子どもたちは15日の晩に若い衆の仲間入りをしました。現在若い衆は少人数のため集まりはなくなり、マキタテやドンド焼きの仕事は地区の仕事になりました。また昔は16日の朝に子どもたちは当番の家に集まり、トウフ汁や餅を食べるまで道祖神の祭りは続きました。



▲ トウフ汁を食べながら来年の当番をクジで決める



子どもの人数が減っているにもかかわらず、平地区では現在でも大人たちの力を一切借りずに男の子たちが主体となって、一生懸命約30時間の行事を楽しみながら行なっています。「人数が増えるともうご祝儀が減るから今くらいの人数でちょうどいい」という頼もしい声も聞かれました。このようなことから、平地区の道祖神祭りは長野市内でも貴重なものとなっています。（文責・辻浩子）

◀ 平成6年の記録

# 寄贈・寄託者の紹介

平成3～5年度にかけて多くの資料の寄贈・寄託がありました。厚く御礼申し上げます。(敬称略)

## 平成3年度

- (寄贈者)
  - (自然)
    - 唐鎌郁夫 (東京大学地震研究所)
      - プレスユースイング長周期地震計他 2台
    - 中塚敬之助 (京都市伏見区)
      - アンモナイト化石他 80点
    - 日野善太郎 (長野市安茂里)
      - コメ石 1点
    - 中川政幸 (長野市徳間)
      - 図書『日本の貝』他 17冊
    - (歴史)
      - 春原資明 (長野市松代町)
        - 野本家文書 一括
      - 北村俊喜 (更埴市)
        - 古典籍 3冊
      - 荒井政雄 (長野市川中島町)
        - 古典籍 一括
      - 倉石慶治郎 (長野市栗田)
        - 古典籍 一括
      - (民俗)
        - 酒井一男 (長野市篠ノ井)
          - ゲタスケート歯 1対
        - 上田義輝 (長野市篠ノ井)
          - キセル 1点
        - 両角英男 (長野市篠ノ井)
          - 硯 1点
        - 吉田和彦 (長野市真島)
          - 什器他 3点
        - 玉井武光 (長野市篠ノ井)
          - 木臼 1点
        - 北村俊喜 (更埴市土口)
          - 牛の鞍他 2点
        - 鈴木謹司 (長野市入山)
          - 鞍 2点
        - 荒井政雄 (長野市川中島町)
          - 二重まわし 1点
        - 倉島俊一 (長野市若穂)
          - 農耕具他 19点
        - 鳥羽宏 (長野市篠ノ井)
          - 毛羽取り機 1点
      - (寄託者)
        - (歴史)
          - 長沢幹雄 (長野市小島田町)
            - 仏像 1軀

- 小山実 (信州新町)
  - 古文書・棟札 一括
- 宮本幸治 (長野市松代町)
  - 古文書・古典籍 一括
- 昭和小学校 (長野市川中島町)
  - 更級郡原村関係古文書他 一括
- 小林けん (長野市川中島町)
  - 更級郡今井村小林家文書 一括
- 川中島斗売神社氏子総代会
  - 更級郡上氷鉤村区有文書 一括
- 清水勝 (長野市川中島町)
  - 刀 4本
- 作見区 (長野市篠ノ井)
  - 作見区有文書 一括
- 赤沼恭治 (長野市北長池)
  - 勝海舟他掛軸 2本

## 平成4年度

- (寄贈者)
  - (自然)
    - 吉澤房斎 (小川村小根山)
      - 貝化石 8点
    - 壇原孝行 (長野市大豆島)
      - セコイア球果化石 2点
    - (歴史)
      - 舎川正善 (長野市七瀬)
        - 古典籍 100冊
      - (民俗)
        - 高橋茂雄 (長野市七瀬中町)
          - 内裏雛他 3点
        - 滝沢宏夫 (長野市松代町)
          - シンガーミシン 1点
        - 宮沢卯藏 (長野市吉田)
          - 手板 4点
        - 佐治木祥司 (長野市三輪田町)
          - 醤油徳利他 66点
        - 赤羽知子 (長野市七瀬中町)
          - 打掛け 1点
        - 島田典生 (長野市篠ノ井)
          - サケ漁の網 1点
        - 斎藤行道 (長野市篠ノ井)
          - 木製カメラ他 63点
        - 井上栄一郎 (長野市青木島町)
          - 鴨捕り網他 49点
        - 佐々木愛明 (長野市七瀬中町)
          - 膳他 40点

米沢進 (長野市七瀬中町)		中塚敬之助 (京都市伏見区)	
念仏講道具	5点	化石・鉱物他	1904点
青木重男 (長野市稲里町)		〈民俗〉	
鋤他	7点	滝沢彦太郎 (長野市篠ノ井)	
徳成なお子 (長野市小島田町)		瓦製作用具	一式
野良着	1点	小林保 (長野市桜枝町)	
● (寄託者)		長野麻商組合の看板	1点
〈歴史〉		和田なか江 (長野市七瀬中町)	
酒井伸 (長野市篠ノ井)		重箱他	42点
更級郡山村山村酒井家文書	一括	岡沢由往 (長野市小島田町)	
柳沢幹雄 (長野市篠ノ井)		花火打上げ用筒他	4点
肉筆浮世絵 (秀麿) 他	4点	田島隆 (長野市川中島町)	
平成5年度 (平成6年1月31日現在)		唐箕	1点
● (寄贈者)		井上栄一郎 (長野市青木島町)	
〈自然〉		備中鍬	2点
松代中学校		山本勝成 (長野市南辰池)	
中沢登関係資料	一括	番傘他	38点
井出秀夫 (小諸市赤坂)		小林公太郎 (長野市西町)	
アケボノゾウ臼歯化石他	21点	米櫃他	59点
守屋益雄 (諏訪市高島)		塚田信幸 (長野市南石堂町)	
カキ化石	1点	打掛け他	3点
大川智子 (長野市三輪)		西村武 (長野市小柴見)	
アオスジアゲハ標本	1点	豆いり器他	5点
安西節子 (戸倉町千本柳)		笠井朋一 (長野市篠ノ井)	
カラタチ苗木他	8点	除草機	1点
八十二銀行 (長野市中御所)		伝田昌弘 (長野市桜枝町)	
シーラカンス模型	1点	棒ばかり	2点
猿島忠幸 (春日井市篠木町)		小島竹一郎 (長野市若里)	
黄鉄鉱	2点	鬼面他	3点
倉田稔 (長野市松代町)		佐々木愛明 (長野市七瀬中町)	
魚類化石	5点	自在鉤他	6点
平井利子 (長野市高田)		倉石直太 (長野市南俣)	
巻貝・二枚貝標本	17点	産湯用桶他	133点
大木淳一 (新潟市)		● (寄託者)	
水晶	1点	〈歴史〉	
曾根原方教 (長野市安茂里)		小林昭太 (長野市篠ノ井)	
鉱物標本	9点	更級郡東福寺村小林家文書	一括
田中邦雄 (松本市元町)		酒井伸 (長野市篠ノ井)	
貝類化石・岩石標本	93点	更級郡山村山村酒井家文書	一括
両角和子 (長野市篠ノ井)		鈴木陽 (長野市西後町)	
巻貝・二枚貝標本他	22点	水内郡大鈴木家文書	一括
湯本博康 (長野市若徳)		千田連絡会 (長野市芹田)	
銅鉱石他	2点	水内郡千田村千田連絡会 (瑠璃光寺) 文書	一括
山口雅巳 (長野市真島町)			
石英他	2点		
寺沢泰 (長野市篠ノ井)			
ケイ化木	6点		
吉川博章 (松本市美須々)			
植物化石	1点		

博物館だより No.27 1994.2

編集・発行 長野市立博物館

〒381-22 長野市小島田町1414

☎ (0262)84-9011